

第26回（2015年度）鈴木賞受賞候補者公募

一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

下記の鈴木賞規定をお読みの上、候補推薦書にてご応募下さい。

鈴木賞の運営選考の実施に関する規定

1. 名称

本賞を一般社団法人日本映画テレビ技術協会鈴木賞という。

2. 本賞設置の趣旨

科学映像の撮影に従事する優れた撮影技術者を顕彰することを目的とする。

3. 受賞の対象

鈴木賞：科学映像の撮影に長年従事し、顕著な技術的成果業績をあげた者。

鈴木賞奨励賞：科学映像の撮影に従事する若い技術者で、著しい業績をあげ将来を嘱望される者。

いずれも原則として1名とする。

4. 受賞の資格

鈴木賞：おおむね20年以上科学映像の撮影に携わっている個人。

鈴木賞奨励賞：科学映像の撮影技術者でおおむね40歳までの個人。

5. 運営と選考

毎年度ごとに会長から委嘱をうけた若干名の委員により運営と選考を行い、受賞該当者の決定は理事会が行う。

本賞の運営・選考・授賞などに要する費用は鈴木賞基金から生じる利息等による。

6. 公募方法と選考期間

協会指定の公募様式による。7月までに委員会選考を終え理事会に答申する。

7. 推薦人の資格

受賞候補者の推薦人は本協会会員とする。

8. 表彰

理事会で承認された受賞者に、表彰式の席上、賞状・賞牌を贈り、業績は本協会機関誌、及びホームページに掲載する。

◎ 本年度公募締切日 2016年4月1日（金）

公募用紙各欄（推薦理由はできるだけ詳細に）にご記入の上、締切日までに候補者の経歴書を1通添付し、協会鈴木賞委員会宛にご送付下さい。

奨励賞候補者の場合は作品のご提出を戴くことがあります。

◎ 鈴木賞委員会委員

大森静雄、掛田憲吾、金山芳和、川上卓三、菊池淳夫、北出継哉、櫛引則彦、毛塚善文、中島聖司、西脇芳紀、長谷川高久、分根秀和、堀内 勉、山下雅史（14名）

■■■■■■ 鈴木賞について ■■■■■■

名誉会員・故鈴木喜代治氏は、1924（大正13）年松竹キネマ蒲田撮影所・美術部へ入所され、その後ニュース映画、劇映画のカメラマンとなり、1934（昭和9）年に十字屋映画部に入られて以降50年余にわたり、生涯の仕事として科学映画の撮影を続けられた。この間、『稲の一生』で日本映画技術賞・文部大臣賞を受賞されたのをはじめ、視聴覚教育三十年功労者賞、映画教育功労賞、映画の日特別功労賞、ベルリン農業映画祭賞、産業映画コンクール大賞、アテネ国際科学映画賞、科学映画祭大会名誉賞、本協会増谷賞など数々の賞を受けられ、1987（昭和62）年に本協会名誉会員に推薦された。1989年8月、88歳で没せられ、翌90年にご遺族より本協会に基金が寄せられ、鈴木賞が生まれた。

鈴木賞は科学映画の撮影に多大の功績をあげられた故鈴木氏に因み、科学映像の撮影技術者を対象としたものである。

第1回受賞者 小林米作、富田 勉（奨励賞）／第2回受賞者 並木菊雄、豊村謙治（奨励賞）／第3回受賞者 豊岡定夫、北原幸夫（奨励賞）／第4回受賞者 関 晴夫、牟田俊大（奨励賞）／第5回受賞者 河野祐一／第6回受賞者 米代直人（奨励賞）／第7回受賞者 西山文夫／第8回受賞者 川下修司（奨励賞）／第9回受賞者 林 正浩（奨励賞）／第10回受賞者 小林一夫、和田正志（奨励賞）／第11回受賞者 谷口常也／第12回受賞者 石井董久、渡邊雅己（奨励賞）／第13回受賞者 中西紀雄（奨励賞）／第14回受賞者 被推薦者なし／第15回受賞者 瀧澤 登、小迫裕之（奨励賞）／第16回受賞者 金子文雄／第17回受賞者 武田 温（奨励賞）／第18回受賞者 被推薦者なし／第19回受賞者 藤本ひろみ／第20回受賞者 柿崎 耕（奨励賞）／第21回受賞者 牧野健一（奨励賞）／第22回受賞者 宮崎 俊（奨励賞）／第23回受賞者 該当者なし／第24回受賞者 竹内 庸、本郷大輔（奨励賞）／第25回 被推薦者なし

第26回（2015年度）鈴木賞奨励賞 候補推薦書

年 月 日 提出

1. 被推薦者名

（ふりがな）

年 月 日 生

住所：〒

社名：

所属：

TEL：

E-mail：

（ご連絡先になります。自宅又は会社をご記入下さい。）

2. 推薦理由（できるだけ詳細に）

候補者の経歴書を1通添付し、ご提出ください。

3. 推薦者名

氏 名

印

住 所 〒

TEL ()

Fax ()

※ 受 付

受付日

経歴書確認

番 号

※欄記入不要